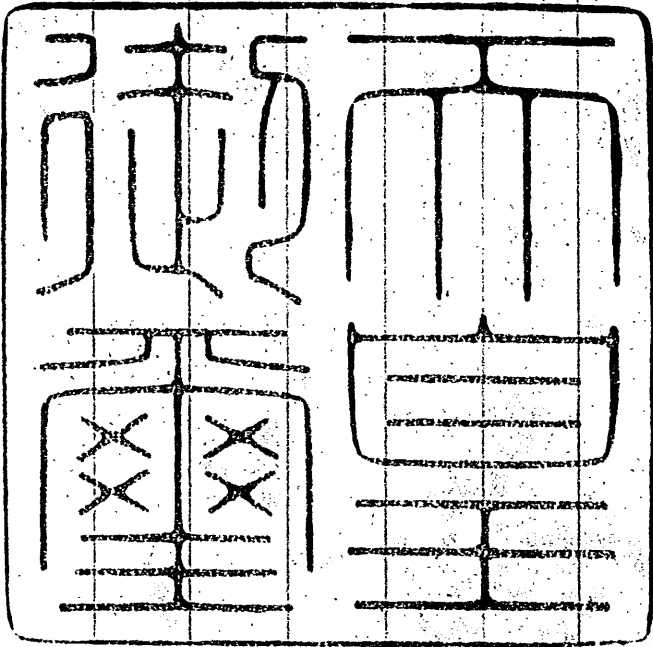


勅令第百五十二號

朕戰時建設團令ヲ裁可シ茲ニ之  
ヲ公布セシム

裕仁



昭和二十年三月二十七日

内閣總理大臣	磯山
海軍大臣	米内
陸軍大臣	杉山
軍需大臣	吉田
	茂元
	昭

勅令第 百五十二號

戰時建設團令

第一條 國家總動員法第十八條ノ規定ニ基ク土木建築ハ附帶工  
事ヲ含ム以下同ジノ事業ノ統制及統制ノ爲ニスル經營ヲ目  
的トスル團體ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ依ル團體ハ戰時建設團トス

第三條 戰時建設團ハ戰時ニ於ケル土木建築ノ總力ヲ最モ有效  
ニ發揮セシムル爲土木建築事業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ之ニ  
必要ナル經營ヲ行ヒ且土木建築ニ關スル國策ノ遂行ニ協力ス  
ルコトヲ目的トス

第四條 戰時建設團ハ其ノ目的ヲ達スル爲構成員ノ土木建築事

業ニ關スル統制指導ヲ行ヒ且土木建築事業ヲ行フ

戰時建設團ハ軍需大臣ノ命令ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ノ外其ノ目的達成上必要ナル附帶事業ヲ行フコトヲ得

第五條 戰時建設團ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ土木建築事業ヲ營ム者又ハ其ノ團體ニシテ軍需大臣ノ指定スルモノトス

第六條 軍需大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ戰時建設團ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ戰時建設團ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ場合ニ於テ軍需大臣ハ戰時建設團ノ設立ヲ命ゼラレタル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命ジ戰時建設團ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシムベシ

設立委員ハ定款其ノ他戰時建設團ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定

メ軍需大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 戰時建設團ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 構成員ニ關スル規定

五 事業及其ノ執行ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

第八條 戰時建設團ハ第六條第三項ノ認可アリタル時又ハ國家

總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時  
成立ス

第九條 戰時建設團成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有  
スル者ハ總テ其ノ構成員トス

第十條 戰時建設團ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

團長 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

戰時建設團ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副團長  
一人ヲ置クコトヲ得

第十一條 團長ハ戰時建設團ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副團長ハ團長ヲ輔佐シ團長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ

團長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ團長及副團長ヲ輔佐シ戰時建設團ノ業務ヲ分掌シ豫メ

團長ノ定ムル順位ニ依リ團長及副團長共ニ事故アルトキハ團

長ノ職務ヲ代理シ團長及副團長共ニ缺員ノトキハ團長ノ職務

ヲ行フ

監事ハ戰時建設團ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ評議員會ヲ組織ス

第十二條 役員ハ軍需大臣之ヲ命ズ

團長、副團長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二

年トス

第十三條 團長、副團長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ

但シ軍需大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 評議員會ハ團長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ團長ニ對シ意見ヲ具申ス

團長ハ左ニ掲グル事項ニ付テハ評議員會ニ諮問スベシ

一 定款ノ變更

二 第十八條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

團長ハ評議員會ニ戰時建設團ノ事業狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告シシムベシ

第十五條 戰時建設團ハ命令ノ定ムル土木建築工事ノ一元的受

注ヲ圖ルベシ

戰時建設團ハ其ノ受注シタル土木建築工事ノ施工ニ係ル實務ヲ其ノ構成員ヲシテ行ハシムルコトヲ得

第十六條 戰時建設團ハ土木建築ニ關スル事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

戰時建設團ハ關係各大臣ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十七條 戰時建設團ハ其ノ構成員ニ對シ戰時建設團ノ事業遂行ノ爲必要ナル事務ノ處理又ハ資料若ハ報告ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事務ノ處理又ハ資料若ハ報告ノ提出ヲ命ゼ

ラレタル者ハ遲滞ナク之ニ應ズベシ

第十八條 戰時建設團ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ軍需大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ構成員ノ全部又ハ一部ニ對シ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 戰時建設團ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル構成員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十條 第十八條ノ賦課金又ハ前條ノ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ戰時建設團ノ請求アルトキハ市町村（東京都ノ區ノ存スル區域ニ於テハ東京都）ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ戰時建設團ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村（東京都ノ區ノ存スル區域ニ於テハ東京都）ニ交付

スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ルモノトス

第二十一條 戰時建設團ハ其ノ構成員ノ土木建築事業ニ關スル統制規程ヲ設定スベシ

戰時建設團ノ構成員ハ戰時建設團ノ統制規程ニ依ルベシ  
第二十二條 定款ノ變更竝ニ統制規程ノ設定及變更ハ軍需大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

軍需大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ  
第二十三條 戰時建設團必要アリト認ムルトキハ其ノ役員又ハ  
使用人ヲシテ構成員ノ土木建築ニ關スル業務ノ狀況又ハ帳簿  
書類、設備其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得  
戰時建設團ノ構成員ハ前項ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避  
スルコトヲ得ズ

戰時建設團第一項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ検査セ  
シムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ  
第二十四條 戰時建設團ノ剩餘金ノ處分ニ關シ必要ナル事項ハ  
命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 軍需大臣戰時建設團ノ目的達成上必要アリト認ム

ルトキハ戰時建設團ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定  
款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 軍需大臣ハ戰時建設團ニ對シ業務及會計ニ關シ監  
督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

軍需大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報  
告セシムルコトヲ得

第二十七條 軍需大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第  
三十一條ノ規定ニ依リ戰時建設團又ハ其ノ構成員ヨリ報告ヲ  
徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、事業場其ノ他ノ場所ニ  
臨檢シ土木建築ニ關スル業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ  
他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得



前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十八條 軍需大臣ハ戰時建設團ノ役員ガ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他戰時建設團ノ目的達成ニ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十九條 戰時建設團ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十條 戰時建設團ハ軍需大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

前項ノ解散ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 第二十五條乃至第二十七條中軍需大臣トアルハ當該ノ命令、處分、報告徴取又ハ臨檢検査ガ軍事上ノ必要ニ基ク場合ニ於テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

陸軍大臣又ハ海軍大臣第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ命令又ハ處分ヲ爲サントスルトキハ軍需大臣ニ協議スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス